

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月17日
事業名	救急医療	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	4
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	町民のための(初期、二次、三次)救急医療体制の確保とともに、災害時に設置する救護所で使用する医薬品の確保				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	初期(一次)救急医療体制の確保のために在宅当番医制事業を中郡医師会に委託、夜間一次救急医療確保のために東海大学医学部附属大磯病院に補助金を支出した。 また、二次救急医療体制の確保のため、平塚市に、三次救急医療体制(ドクターヘリ運営)の確保のため、県に負担金を支出した。災害時の医薬品備蓄を東海大学医学部附属大磯病院に委託したほか、救護所用医薬品を備蓄管理している。				
根拠法令・条例等	医療法、神奈川県保健医療計画、神奈川県地域医療再生計画、救急医療用ヘリコプターを用いた救急医療の確保に関する特別措置法				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	20,069	15,979	20,523
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	1,913	154	1,924
	起債	千円			
	その他	千円	3,077		3,057
	一般財源	千円	15,079	15,825	15,542
	職員人数(概算職員数)	人			0.19
	人件費計 (b)	千円			1,164
総事業費 (a)+(b)	千円	20,069	15,979	21,687	
事業費内訳 H 25 年度	在宅当番医制委託：5,000千円 夜間一次救急医療対策補助金：3,400千円 二次救急医療負担金：10,701千円 ドクターヘリ運営負担金等：1,039千円 災害時用医薬品・食料品備蓄委託：283千円 ※二宮町とは隔年で事業の当番町を担当している。				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民(4/1現在の人口)	人	32,791	32,587	32,625
活動指標 (活動量)	① 一次救急病院数	箇所	26+1	25+1	25+1
	② 二次救急病院数	箇所	4	4	4
成果指標 (達成度等)	① 一次救急利用者数	人	2,122	2,197	2,200
	② 二次救急利用者数	人	1,352	1,610	1,600

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	初期、二次、三次救急体制を確保する上での役割分担に従い実施、協力を行っている。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	初期救急については中郡エリアで行っているため、二宮町とは隔年で事務処理を含む当番町を担当しているが、二次救急及び三次救急については、平塚市、神奈川県が事務処理を行っているため、事務負担は発生しない。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	利用実績から、必要時に利用できる体制ができています。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	理由	救急医療体制の確保については、生死に係る事態が、いつ、どこで、どのように発生するのかわからないため、効率性については特に意識はしていないが、備蓄医薬材料については、関係機関・団体と検証する中で、見直しも考えられる。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他
	理由	救急医療体制の確保について、現状よりも後退させることはできないので、役割分担の見直しを含め検討する必要があると考える。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 必要時に対応できる救急医療体制が整備できているため、妥当と考えられる。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
災害時医薬品、食料品備蓄の内容について、検討・検証を二宮町と行うとともに、委託先の東海大学医学部附属大磯病院と効率的な運用方法を構築するため意見交換を行う。
② 平成26年度に着手する事項
二宮町と災害時医薬品、食料品備蓄の内容について、検討・検証をスタートさせる。
③ その他（課題、調整事項等）

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

二宮町と合同で委託している後方支援病院等での災害時医薬品、食糧品の備蓄内容については、効率よく補充できるようなものを二宮町と協同して検討する。 災害発生後の健康管理を充実させるために、避難所となる小学校等を保健師が巡回する際に持参する救急バック（ガーゼなど応急処置用衛生材料ほか）を配備する。（危機管理室対応）
--